

(仮訳)

プレス・リリース

2024 年 9 月 24 日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、G-SIB の年次評価を承認し、2023 年の銀行を巡る混乱へのフォローアップ対応を前進させる。

- 最近の市場及びオペレーション上の混乱について議論。
- バーゼル委は、グローバルなシステム上重要な銀行（G-SIBs）の年次選定結果を承認。
- 2023 年の銀行を巡る混乱からの流動性リスクに関する知見についての分析報告書を最終化。

バーゼル委は、9 月 23-24 日にバーチャル会合を開催し、最近の市場の動向やグローバルな銀行システムに対するリスクについてストックテイクするとともに、政策及び監督上の様々な取組みについて議論した。

最近の市場動向

バーゼル委メンバーは、7 月下旬から 8 月上旬にかけての市場のボラティリティの急上昇について議論した。これらの出来事は短期的なもので、グローバルな銀行システムに重大な影響を及ぼすものではなかったものの、大規模なレバレッジ・ポジションの積み上がりが急速に巻き戻されやすいことを浮彫りにした。また、これらの出来事は銀行と監督当局が、銀行とノンバンク金融仲介（NBFIs）との相互連関を引き続き警戒してモニタリングし評価することの重要性を強調することになった。

バーゼル委はまた、7 月の一部の銀行を含む多数のセクターでシステム障害が発生した一連のオペレーション上の混乱についても議論した。これらの出来事は、銀行の[オペレーショナル・レジリエンス](#)とサードパーティリスク管理の重要性、及び同一のサードパーティのソフトウェアやサービスに依存することから生じるシステムミックリスクを浮彫りにした。バーゼル委は現在、健全なサードパーティリスク管理のための諸原則に係る[提案](#)について市中協議を行っている。

グローバルなシステム上重要な銀行

バーゼル委は、G-SIBs の 2023 年末時点の選定結果を承認した。この結果は金融安定理事会（FSB）に提出され、後日、FSB は 2024 年の G-SIBs リストを公表する予定である。

2023 年の銀行を巡る混乱

バーゼル委は、2023 年の銀行を巡る混乱から得られた教訓に関する分析の進捗報告書を最終化した。G20 議長国のブラジルから要請されたとおり、この報告書は、バーゼル委の混乱に関する初期の[報告書](#)に基づいており、特に、流動性リスクに関するフォローアップの分析作業に焦点を当てている。この進捗報告書は、G20 財務大臣・中央銀行総裁向けに提出され、来月公表される予定である。

バーゼル委はまた、昨年の混乱から得られた教訓に照らして、監督上の実効性を強化するために、監督当局の日々の監督業務を支援するための実務的な監督ツール式を開発する作業の進捗を議論した。この作業は、流動性リスクと銀行勘定の金利リスク（IRRBB）の監督、銀行のビジネスモデルの持続可能性評価、及び実効性のある監督上の判断の重要性が含まれる。

これは、昨年の銀行を巡る混乱に対するバーゼル委の一連のフォローアップの取組みの一環である。

気候関連金融リスク

バーゼル委は、気候関連金融リスクに関する第 3 の柱の開示枠組みを提案する[市中協議](#)へのコメントのレビューを継続した。